

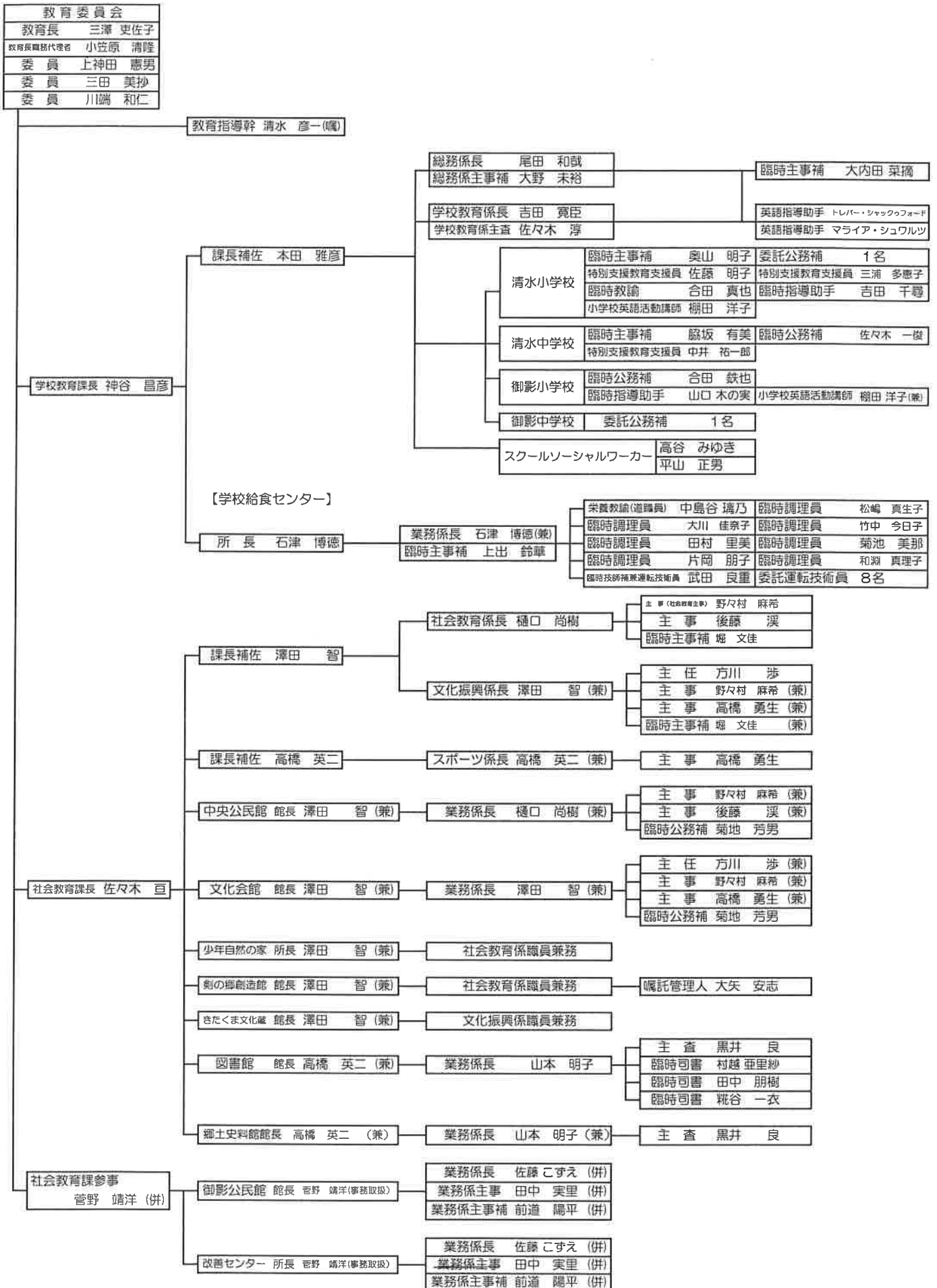
**清水町議会
厚生文教常任委員会説明資料**

平成31年2月12日

清水町教育委員会学校教育課

清水町教育委員会事務局職員構成図

(平成31年2月1日 現在)



学校教育課分掌事務

総務係

- (1) 教育委員の会議、研修及び学校訪問に関する事。
- (2) 規則、規程等の公告式に関する事。
- (3) 公印の保管に関する事。
- (4) 教育行政の企画及び調整に関する事。
- (5) 校長、教頭会議に関する事。
- (6) 事務局職員の服務に関する事。
- (7) 教職員の処遇、研修及び福利厚生に関する事。
- (8) 教育功績者(社会教育課関係を除く。)の叙勲、申請に関する事。
- (9) 学校教育関係施設、設備及び備品の整備に関する事。
- (10) 学校教育関係施設の環境衛生に関する事。
- (11) 学校教育関係財産の管理及び処分に関する事。
- (12) 教員住宅の入居及び退居に関する事。
- (13) 学校の学級編制に関する事。
- (14) 文書、物品の收受発送に関する事。
- (15) 北海道清水高等学校振興会に関する事。
- (16) 学校教育課の他の係の所掌に属さない事。

学校教育係

- (1) 学齡児童生徒の就学に関する事。
- (2) 学校の教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事。
- (3) 教科用図書に関する事。
- (4) 特別支援教育に関する事。
- (5) 教育支援委員会に関する事。
- (6) 学校安全に関する事。
- (7) 学校保健に関する事。
- (8) 日本スポーツ振興センター災害共済給付に関する事。
- (9) 児童生徒の就学奨励及び援助に関する事。
- (10) 児童生徒に係る教育相談に関する事。
- (11) 通学区域の設定又は変更に関する事。
- (12) 清水町奨学金に関する事。
- (13) 学校教育関係団体に関する事。
- (14) 英語指導助手に関する事。
- (15) その他、学校教育及び児童生徒に関する事。

学校給食センター分掌事務

業務係

- (1) 給食センター運営委員会に関すること。
- (2) 給食費の徴収及び管理に関すること。
- (3) 給食献立作成及び給食だより作成に関すること。
- (4) 給食物資の購入計画及び契約に関すること。
- (5) 給食物資の発注及び検収保管受払いに関すること。
- (6) 施設及び食品衛生管理に関すること。
- (7) 給食調理作業に関すること。
- (8) 調理機械及び器具の維持管理に関すること。
- (9) ボイラー及び危険物の取扱いに関すること。
- (10) 栄養士及び調理員の服務に関すること。
- (11) 給食配送車の運行管理に関すること。
- (12) スクールバスの運行管理に関すること。
- (13) 町民バスの運行に関すること。
- (14) その他給食センターに関すること。

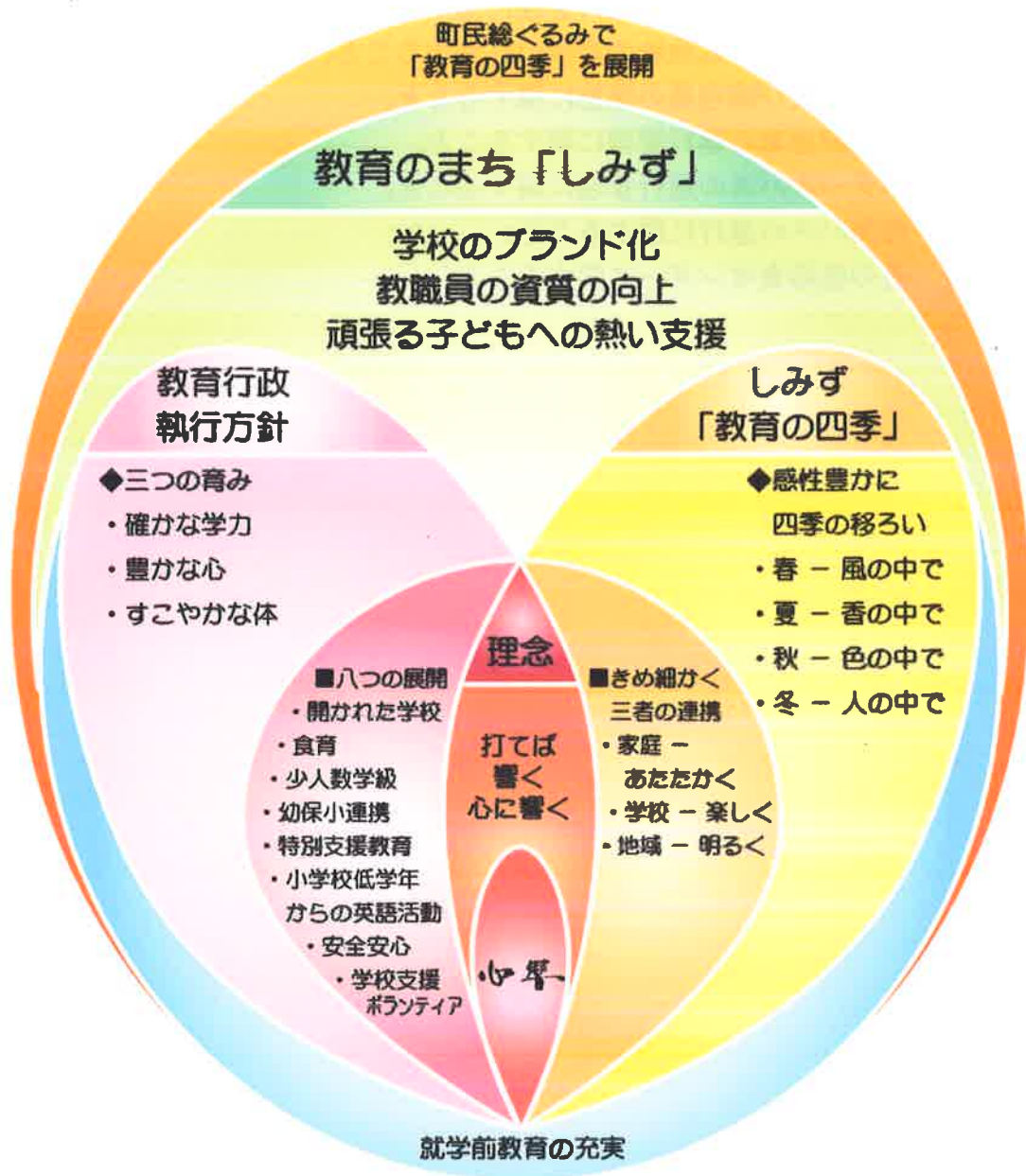
教育のまち「しみず」の教育

心響

—心をかよわせ、互いに響き合う感性豊かな教育の推進—

- 家庭、学校、地域が連携して、しみず「教育の四季」をすすめて、「12の窓」から子どもを育てる。
- 教育のまち「しみず」を自負して、「教育行政執行方針」に照らして真摯な教育を展開する。

ありがとう 明日の夢に向かって



清水町教育委員会



家庭・学校・地域が連携して
町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

ありがとう 明日の夢に向かって

理念

しみず「教育の四季」は、町民の教育に対する関心を深め、強くたくましい開拓者精神をうけつぎ、清水町の未来をつくる子どもが、表情豊かに育ち、明るく豊かな町を作るために表明します。

趣旨

うるおいとぬくもりのある厳しくも美しいしみずの四季を通して、家庭、学校、地域が相互に連携し、新しい時代をきり拓く子どもたちを「12の窓」から心を含ませて守り育てることによって、教育への関心を高め、それぞれがかかわりあい、何ができるのかを考え、行動することが期待されます。

方策

- ① 家庭、学校、地域が「12の窓」を基本にそれぞれの実態に応じて工夫し、四季を通じて取り組みます。
- ② 子どもの思いや声に耳を傾け、柔軟に取り組むため、関係者の交流と話し合いの場を設けます。
- ③ 関係団体の主体的な取組を支援します。

平成18年4月 宣言

清水町教育委員会
しみず「教育の四季」推進協議会

<p>あたたかい 楽しい 楽しい ぬくもりの 家庭</p>	<p>楽しく 楽しい 楽しい 学校文化 学校</p>	<p>明るく 明るい 明るい 三軒両隣 地域</p>
<p>家族の一員 家族の お手伝い</p> <p>さわやかな 風 風の中で 元気に力強く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いってらっしゃい」背中に声かけ ・あいさつ・返事・後片づけ、できたらほめて一挙徹底 	<p>家庭学習の 家庭学習の 習慣化</p> <p>楽しく 楽しい 楽しい 学校文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう。今日も元気で」校門出迎え ・「命」の尊さ、基本的な生活習慣徹底 	<p>子育てサポ 子育てサポ ポートボラン ティア</p> <p>明るく 明るい 明るい 三軒両隣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな元気に笑顔で挨拶 ・子どもの安全見守ろう「ワンワンパトロール」
<p>家族の一員 家族の お手伝い</p> <p>かぐわしい 香 香の中で 志(夢)大きく高く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族みんなで学校に行こう ・級友、先生と仲良しになる ・わが子、よその子隔てなく 	<p>家庭学習の 家庭学習の 習慣化</p> <p>楽しく 楽しい 楽しい 学校文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域公開」で願いや声を受け止めよう ・「学校評価」 ・地域の祭りでも楽しむ 	<p>子育てサポ 子育てサポ ポートボラン ティア</p> <p>明るく 明るい 明るい 三軒両隣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校をぶらり訪問、思いを伝えよう ・「近ごろの子ども」の良さを発見
<p>家族の一員 家族の お手伝い</p> <p>心を染める 色 色の中で 感性みずみずしく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TV消し家族そろって「タベの読書」と「団らん」 ・子どもと一緒にボランティア 	<p>家庭学習の 家庭学習の 習慣化</p> <p>楽しく 楽しい 楽しい 学校文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝の読書」で1日のスタート(思いを言葉や文字で表そう) ・「法教育」でルールとマナー 	<p>子育てサポ 子育てサポ ポートボラン ティア</p> <p>明るく 明るい 明るい 三軒両隣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保・小学校、図書館で読み聞かせボランティア ・地域子ども会のお手伝い(子どもとついで話そう)
<p>家族の一員 家族の お手伝い</p> <p>厳しさに生きる 人 人の中で きたえ磨く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に作る、食べる、片付ける ・早寝、早起き、朝ごはん 	<p>家庭学習の 家庭学習の 習慣化</p> <p>楽しく 楽しい 楽しい 学校文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳の働きと「食」、給食を軸に「食育」(食の文化とマナー、勤労生産・感謝の心) 	<p>子育てサポ 子育てサポ ポートボラン ティア</p> <p>明るく 明るい 明るい 三軒両隣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手づくり料理で「地産地消」 ・「食」で向こう三軒両隣
<p>あいさつ・返事・後片づけ</p>		

*12の窓の空らんには、それぞれのめあてや重点、内容などを記入してご利用ください

平成22年4月 改訂

しみず「教育の四季」推進協議会

○平成30年度 活動報告

1 第1回 しみず「教育の四季」推進協議会の開催

(1) 日 時 平成30年4月25日(水) 19:00~20:30

(2) 会 場 清水町文化センター 2F 会議室

(3) 内 容

① 29年度の経過報告

② “しみず「教育の四季」”実践報告

- ・各学校及び児童会・生徒会の取組
- ・「子どもフォーラム」の取組
- ・アンケート結果から

③今年度の推進計画について(重点)

- ・あいさつ・家庭学習・読書の習慣化・体力づくり
- ・「子どもフォーラム」の開催
- ・「教育の四季」の町民への浸透
- ・「しみずソーシャルメディアガイドライン」に基づくスマホ等の安全使用への啓発

④コミュニティ・スクール導入に関して

⑤質疑・意見交流

2 しみず「教育の四季」リーフレット配布

(1) 期 日 平成30年4月10日(火)

(2) 配布機関名

○ 町内小・中学校(児童生徒数・学級数・教職員数・職員室)

○ 幼稚園・保育所(保護者数、学級数・職員数・職員室等)

* 幼稚園・保育所版

3 第11回サイエンス・サマースクールの実施

(1) 主 催 清水町教育委員会

(2) 後 援 十勝理科教育研究会

(3) 日 時 平成30年7月28日(土) 13:00~16:30

(4) 会 場 清水町立清水中学校 理科室

(5) 内 容 【中高連携】

① ペットボトルロケットを打ち上げよう!

○ テーマは「ロケットの飛翔制御」

② 講師 北海道教育大学釧路校 講師 中山 雅茂 氏

③ 研修生: 清水中学校、御影中学校、清水高等学校生徒 計 13名

4 第12回 しみず「教育の四季」子どもフォーラムの実施

(1) 目的 清水町の児童・生徒の意見交流を通して、しみず「教育の四季」の趣

旨の浸透を図り、未来を担う町の宝である子どもたちの健全育成を目指した教育実践を町民総ぐるみで取り組むための方向性を探る。

(2) 日時 平成30年11月27日(火) 15:30~17:10

(3) 会場 清水町文化センター 1F 大集会室

(4) 内容

① しみず「教育の四季」の各学校の児童会・生徒会の取組について

② 児童・生徒と参加者との意見交流

スマホ・ゲームについて考える

(5) 参加者

① 各小・中学校児童生徒の代表及び担当教諭

② 清水高等学校生徒代表及び担当教諭

③ しみず「教育の四季」推進協議会役員

④ 町民・保護者

計 70名の参加

5 第二保育所参観日懇談会での講話

(1) 日時 平成30年5月10日(木) 11:00~11:30

(2) 会場 第二保育所遊戯室

(3) 参加者 全保護者

(4) 内容 “しみず「教育の四季」”の内容と就学前教育について
話題；「子どもの健やかな成長を願って」

6 第一保育所参観日懇談会での講話

(1) 日時 平成30年12月6日(火) 10:30~11:00

(2) 会場 清水町立第一保育所

(3) 参加者 年長児保護者及び担当保育士

(4) 内容 “しみず「教育の四季」”の内容と就学前教育について
話題；「子どもの健やかな成長を願って」

7 御影保育所参観日懇談会での講話

(1) 日時 平成30年12月7日(金) 11:30~12:00

(2) 会場 清水町立御影保育所

(3) 参加者 年長児保護者及び担当保育士

(4) 内容 “しみず「教育の四季」”の内容と就学前教育について
話題；「子どもの健やかな成長を願って」

8 清水ブロック幼保・小連携事業～保育参観

(1) 清水町立第一保育所～保育参観

- ① 日 時 平成30年11月12日(月)～16日(金) 10:00～11:30
- ② 会 場 第一保育所
- ③ 参加者 清水小教諭、幼稚園教諭、第二保育士、教育指導幹

(2) 清水町立第二保育所～保育参観

- ① 日 時 平成30年11月12日(月)～16日(金) 10:00～11:30
- ② 会 場 第二保育所
- ③ 参加者 清水小教諭、幼稚園教諭、第一保育士、教育指導幹

(3) 清水町立清水幼稚園及～保育参観

- ① 日 時 平成30年12月3日(月)～7日(金) 9:30～11:00
- ② 会 場 清水幼稚園
- ③ 参加者 清水小教諭、第一・第二保育士、教育指導幹

9 その他

(1) しみず「読書の日」の啓発

毎月19日を しみず「読書の日」

(2) 「しみずソーシャルメディアガイドライン」の啓発

清水町の幼保・小連携の取組について

清水町では、“しみず「教育の四季」”を通して、家庭、学校、地域が連携して感性あふれ、表情豊かな子どもの育成を目指した教育実践を推進しています。

平成15年度から、教育効果をより一層高めるため、小学校低学年の「少人数学級」に取り組み、町単費で任用した教員（1～2名）を配置し、1学級20人程度の学級編成として、きめ細かな教育活動を展開する学習環境の整備を図ってきました。

清水町では平成17年度に幼保・小連携協議会を設立し、取り組みを進めてきました。国においても、幼児期の教育を担う保育所と幼稚園の新しい規準として、平成21年度から「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」に、小学校との連携の推進に関する内容が盛り込まれました。また、平成23年度から施行された「小学校学習指導要領」にも幼保・小連携が明記されました。

連続する子ども達一人ひとりの望ましい成長・発達を促す教育環境として、幼稚園・保育所から小学校への進学の際の段差を少なく、滑らかにつながるようにさせていくために幼保・小の連携が重要であり、教員、保育士などの関係者をはじめ保護者にも、連携と相互交流の理解を深める取り組みを行っています。

1 幼保・小連携の目的

- (1) 校種間の「段差の解消」～ストレスのない滑らかな接続
- (2) 教育課程の整合性と連続性（学力向上）
スタート&アプローチカリキュラムの実践と見直し
- (3) 幼稚園、保育所、学校を中心とした地域に根ざした連携～保護者、地域への啓発活動
- (4) 保育士、教員の意識改革～交流や合同研修会の開催

2 幼保・小連携に関する具体的取組

- (1) 連携による幼児・児童の交流活動
- (2) 発達や学びの連続性を重視したカリキュラムの工夫・改善
- (3) 連携を図るための保護者や地域の理解と協力
- (4) 保育や授業の改善を図る教員交流及び合同研修会の開催

「幼保・小連携」のための組織体制

清水町幼保・小連携協議会

行政関係者

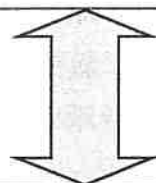
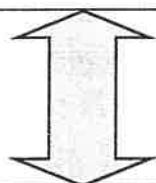
- ・学校教育課長 ・教育指導幹 ・子育て支援課長 ・学校教育課長補佐
- ・子育て支援課長補佐 ・子育て支援課児童保育係長 ・学校教育課学校教育係

学校関係者

- ・清水小学校長（教頭） ・御影小学校長（教頭） ・清水幼稚園長（教頭）
- ・清水小学校担当教諭2名 ・御影小学校担当教諭 ・清水幼稚園担当教諭

福祉関係者

- ・第一保育所長 ・第二保育所長 ・御影保育所長
- ・第一保育所担当保育士 ・第二保育所担当保育士 ・御影保育所担当保育士



清水ブロック幼保・小連携推進会議

清水小学校、清水幼稚園
第一保育所、第二保育所
(学校教育課・子育て支援課)

部 会

設置例

- ・交流部会（子どもの合同活動等）
年長・小1のクラスを担当する教諭、
5歳児を担当する保育士で構成する。
- ・研修部会（参観及び合同研修等）
各機関の所長、教頭、教諭及び保育
士で構成する。

御影ブロック保・小連携推進会議

御影小学校、御影保育所
(学校教育課・子育て支援課)

部 会

設置例

- ・交流部会（子どもの合同活動等）
年長・小1のクラスを担当する教諭、
5歳児を担当する保育士で構成する。
- ・研修部会（参観及び合同研修等）
各機関の所長、教頭、教諭及び保育
士で構成する。

児童・生徒数、学級数及び教職員数（平成31年2月1日現在）

学校名	児童・生徒（上段）及び学級数（下段）									教職員数					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	特学	計	教員	少人数学級 (町単)	養護	栄養	事務	計
清水小学校	37	56	43	37	50	39	262	42	304	27	1	1	1	1	31
	2	3	2	1	2	1	11	9	20						
御影小学校	19	16	16	26	21	19	117	15	132	17		1		1	19
	1	1	1	1	1	1	6	4	10						
小学校計	56	72	59	63	71	58	379	57	436	44	1	2	1	2	50
	3	4	3	2	3	2	17	13	30						
清水中学校	44	47	53				144	12	156	19		1		1	21
	2	2	2				6	5	11						
御影中学校	23	25	20				68	4	72	13		1		1	15
	1	1	1				3	2	5						
中学校計	67	72	73				212	16	228	32		2	0	2	36
	3	3	3				9	7	16						
合計							591	73	664	76	1	4	1	4	86
							26	20	46						

- ※ 清水小学校には、指導方法工夫改善加配として2名、通級指導加配として2名加配として配置されている。
- ※ 御影小学校には、指導方法工夫改善加配として1名配置されている。
- ※ 清水中学校には、指導方法工夫改善加配として1名配置されている。
- ※ 御影中学校には、指導方法工夫改善加配として1名配置されている。

学校施設建設年度一覧

【学校教育課総務係】

面積:m²

学校名・区分	校 舎		屋 体		備 考
	建設年度	施設面積	建設年度	施設面積	
清 水 小学校	S 53	6,634	S 53	1,200	H25 大規模改修
御 影 小学校	S 59	2,423	S 60	846	
清 水 中学校	S 55	5,725	S 55	1,563	H27 大規模改修
御 影 中学校	S 47	2,368	S 47	942	H13 大規模改修

平成30年度北海道清水高等学校振興会事業計画

1 広報活動

- (1) 学校案内リーフレットの作成・配布
- (2) 生徒の活躍を紹介する広告看板の書き換え
- (3) 清高通信「彩雲」の作成・発行・配布
- (4) 総合学科を語る集いの開催

2 募集活動

- (1) 町内小・中学校及び管内中学校への募集活動支援
- (2) 管外中学校及び管内市町村教育委員会への募集活動支援

3 進路開拓の支援

- (1) 町内、管内の求人開拓
- (2) 進学先の開拓及び情報収集・提供

4 生徒の進路・進学支援

- (1) 資格取得の検定料補助
- (2) 進路別講習テキスト代の補助
- (3) インターネット利用による進路講習費用の補助、ICT環境整備
- (4) 国際交流派遣補助
- (5) 高校と大学との連携強化

5 その他

- (1) 町内小・中学校と高校教員との連携強化
- (2) 地域との連携強化（清高ショップの開催など）

平成30年度 給食センター管理運営状況調査書

給食開始年次	昭和40年12月			給食人員調	区分	学校数	児童生徒数等	教員等	合計	めん給食	小学校	平均	36日	低	200g		残滓処理方法	残滓処理機使用(処理能力9.7kg/日)						
現有施設建築年次	平成9年2月				小学校	2校	448人	52人	500人		中学校	平均	35日	高	200g			賃金手当等	調理員					
建物面積	805.09 m ²				中学校	2校	230人	40人	270人		幼稚園	1ヶ所		250g					臨時職員	136,500円～179,760円				
会計区分	公会計				給食センター	1ヶ所		人	22人		22人	計	6	720人	122人	842人		支給月	名称	支給率または支給額				
職員数調	所長	専任		1名	一週間の献立	主食					パンとめん給食	小学校	実施日数	1食当りのグラム数	パン	低		勤務時間	区分	登庁	昼休み	退庁		
	事務職員	臨時		1名		月	火	水	木	金					めん	低			給食がある日	8:00	0:45	16:30		
	栄養教諭	栄養士兼任		1名		米飯	パン	米飯	米飯	めん					めん	高			給食がない日	8:45	1:00	17:30		
	ボイラー職員	臨時		1名		正職員	準職員	嘱託	臨職															
	運転手	名	名	名		名	名	名	名	名														
	調理員	名	名	名		名	名	名	名	名														
	その他	名	名	名		名	名	名	名	名														
給食配送調	区分	委託			一食当り食材費	区分	米飯	パン	麺	一食平均	食器	材質	強化磁器		スクーター	所有台数	8台(全路線運行委託)							
	台数	内訳	3.5トントラック	2台		小学校	主食	26.44円	98.63円	71.73円			50.04円	更新状況		30年度一部更新		車両名	路線名	所要時間				
	配送時間	時間10分～時間20分				中学校	主食	36.35円	112.44円	76.70円			61.11円	給食時の使用食具			1号車	旭山線	43分					
給食費調	区分	一食当り	年間給食回数	年額	米飯給食	小学校	年間実施日数平均	124日	1食当	80g	器具等	種類	アミハード(強化ナイロン)		バス調	2号車	北熊牛・人舞線	50分						
	小学生	220円	197回	43,340円		中学校	年間実施日数平均	126日	1食当	110g			ごはん	箸		3号車	美蔓線	46分						
	中学生	270円	194回	52,380円		炊飯方法	センター方式		週3回				めん	箸		4号車	羽帯線	46分						
	幼稚園	125円	80回	10,000円		米の購入先	北海道学校給食会(ななつぼし)						パン	スプーン・フォーク		5号車	熊牛・下人舞線	46分						
	徴収事務	納付書作成	センター			パン給食	区分	実施日数	1食当りグラム数				お盆	状況		有(各学校へ配膳)		町民バス調	6号車	松沢・大和線	45分			
		徴収原簿作成	センター				小学校	平均	45日	低学年						50g	めん		箸		7号車	下佐幌線	26分	
		給食費督促	毎月				中学校	平均	42日	高学年						50g	パン		スプーン・フォーク		7号車	上清水線	20分	
徴収率(平成29年度)		99.07%										種類			アミハード(強化ナイロン)		8号車		東団地方面(登校1回運行)	10分				
徴収委員会等設置状況	無			業務委託	無				負担	公費		従事者数	委託8名											
給食費改定予定年度	平成30年度	予定無		業務指定管理者	無				品質	ポリカーボネート		勤務時間	6:30～16:45(実働勤務時間7:45)											
										洗淨	センター(週2回)		スクール	4路線運行委託										
													タクシー	神居、北清水、讃岐下人舞、上清水2線										
														・所有台数 1台 ・従事者数 委託1名										
														・30年度稼働日数 74日 1,680人(12月末)										
														(29年度稼働日数 97日 2,299人)										